

(4) 第45回 全日本社会人ソフトテニス選手権大会

1. 主催 (公財)日本ソフトテニス連盟
2. 期 日 平成29年9月2日(土) 受付 午前8時～
開会式 午前8時30分～
競技開始 午前9時
9月3日(日) 競技開始 午前9時
9月4日(月) 予備日
3. 会 場 [開会式] 熊本県民総合運動公園パークドーム熊本
〒861-8012 熊本市東区平山町2972番地 TEL 096-388-2180
[競 技]
(1)熊本県民総合運動公園パークドーム熊本(砂入り人工芝 12面)
〒861-8012 熊本市東区平山町2972番地 TEL 096-388-2180
(2)熊本県民総合運動公園テニスコート<センター、C、D>(砂入り人工芝16面)
〒861-8012 熊本市東区平山町3096番地 TEL 096-389-2870
(3)熊本県民総合運動公園テニスコート<A、B>(砂入り人工芝 14面)
〒861-8014 熊本市東区石原町2丁目9-1 TEL 096-380-7599

※参加人数確定後に使用コートを決めます。
4. 種 別 ダブルス一般男子・一般女子
ダブルス成年男子・成年女子
5. 年 齢 制 限 一般の部 年齢制限しない。
成年の部(35歳以上) 平成29年4月1日現在で満35歳以上の者
6. ル ー ル ソフトテニスハンドブックによる(7ゲームマッチ)
7. 大会使用球 ケンコーボール
8. 練 習 平成29年9月1日(金) 午前9時～午後5時 無料
熊本県民総合運動公園テニスコート<C、Dコート>
9. 参 加 資 格
 - (1) 日本学連登録者・高体連登録者・中体連登録者は参加できない。各都道府県連盟に所属している者は一般とみなす。ただし(4)を除く。
 - (2) 一般男子・一般女子の部については、技術等級制度2級以上および公認審判員制度の有資格者、成年男子・成年女子の部は公認審判員制度の有資格者であること。

- (3) 他支部の選手と組んで出場することができる。ただし、所属両支部長の承認を得ていずれかの所属支部長より申し込むこととし、申し込みをしない所属支部長の承諾書を大会申込システムにて手続きをする。(この場合申し込んだ支部の制限数に入る)
- (4) 外国選手(海外在住者)の参加を認める。

10. 参加数

- | | | |
|--|-----------------|--------|
| | 一般男女 | 成年男女 |
| (1) 開催支部・愛知・埼玉・神奈川・千葉・兵庫・静岡・
東京・大阪・北海道・(茨城) | } 20ペア以内 | 16ペア以内 |
| (2) その他の府県 | 16ペア以内 | 8ペア以内 |
| (3) 平成28年度本大会、一般男女・成年男女の部 | ベスト8(同一出場ペアに限る) | |
| (4) 男子・女子ともに平成29年度各ブロック大会
(北海道を除く) | ベスト4以内 | ベスト4以内 |
| (5) 平成28年度日本ソフトテニス連盟ダブルス男子・女子総合ランキング10位以内の選手 | | |
| (6) 外国選手 | | |
| (7) 日本ソフトテニス連盟からの推薦 | | |

補：ア (3)～(5)で得た出場権が重複する場合は補充しない。

イ 参加資格が得られる大会が中止となった時は決められた枠内で別途考慮する。

ウ (3)～(5)までの出場資格選手は資格者同士の出場ペア以外は原則として認められないが特別の事情が起こった時は日本連盟に選手変更を申請して許可された場合に限り認められる。ただし2人ともの変更はできない。

エ 出場数を他支部から譲り受けることはできない。

11. 参加料 各種別とも 1ペア 4,000円
(会員登録制度の未登録者が含まれる場合 1ペア6,000円)

12. 申込方法

- (1) 大会申込システムにより各都道府県連盟より申し込む事。ただし外国選手および日本連盟推薦者は、日本連盟より手続きをする。
- (2) 申込期日 平成29年7月10日(月)必着

13. 宿泊申込

- (1) 宿泊申込先 九州産交ツーリズム株式会社 旅行事業部 法人団体営業課
〒860-0804 熊本市中央区辛島町5-1 日本生命熊本ビル1階
TEL 096-325-8240 FAX 096-323-1777
- (2) 宿泊締切日 平成29年8月1日(火)

14. 参加の条件

- (1) ユニフォームは、連盟が公認したメーカーの製品で「ユニフォーム等の着用基準」(別表5)を遵守した製品を着用すること。
- (2) シューズは、連盟が公認したメーカーのテニスシューズを着用すること。

- (3) ラケットは、連盟の公認マークが添付されたものを使用すること。
- (4) 所定時刻までに受付を完了し、開会式にはユニフォームを着用の上、必ず参加すること。
- (5) 前年度優勝者は、優勝杯を整備し開会式において必ず返還すること。
- (6) 出場ペアは同一のユニフォームを着用することが望ましい。
- (7) 会員登録証(登録会員)、公認審判員ワッペンおよびイエローカードを携行し、審判を担当するときはワッペンを左胸に着用すること。
- (8) 選手変更をする場合(別表2参照)、必ず支部長印のある変更届(別表3)を日本連盟に提出すること。緊急の場合は会場に持参し、大会競技委員長の許可を得ること。
- (9) 入賞者は、ユニフォームを着用の上、必ず閉会式に参加すること。
- (10) 参加者は、大会前に健康診断を受け大会期間中は健康管理に十分留意すること。また、健康保険証を持参すること。
- (11) 本連盟指定のゼッケンを着用し、必ず四隅を止めること。
- (12) 本大会に係わる映像等の広報についての活用と一切の権利については、本連盟に帰属し、承諾するものとする。

15. アンチ・ドーピングについて

この大会は日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。ドーピング検査およびアンチ・ドーピング活動については、本冊子掲載の「ドーピング検査について」、「アンチ・ドーピングについて」、「ドーピング検査 Q&A」を熟読すること。